

お知らせ



2025 環太平洋国際化学会議 (Pacifichem 2025) 大会テーマの決定およびシンポジウム募集

2025 環太平洋国際化学会議 実行委員会

2023年2月2~3日にホノルルで、日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、中国の共同主催国化学会代表者で構成される国際組織委員会が開催され、次回の環太平洋国際化学会議（Pacifichem）を2025年にホノルルで現地対面開催することを決定いたしました。

なお、共同主催国化学会代表による調印式をオンラインで3月3日に開催し、日本からはPacifichem Inc. 役員の中村栄一教授および澤本光男常務理事が調印式に参加し、開催協定書に署名いたしました。

■会 期：2025年12月15~20日

■場 所：ホノルル、ハワイ

■主催学会：カナダ化学会（ホスト）、日本化学会、アメリカ化学会、オーストラリア化学会、ニュージーランド化学会、韓国化学会、中国化学会

■テ ー マ：*Building Communities to Address Global Challenges*

■シンポジウム募集開始：2023年5月（予定）

環太平洋国際化学会議は、1984年に始まって以来9回目の開催となり、今回はパンデミック後としては10年ぶりの現地開催となります。国際組織委員長にはカナダ化学会のLaurel L. Schafer教授（カナダ化学会、University of British Columbia）と、副委員長としてTom Baker教授（University of Ottawa）、日本から菅 裕明教授（東大）、アメリカからはMarcy Towns教授（Purdue University）が就任いたしました。日本からは、関修平教授（京大）、唯美津木教授（名古屋大）、田中敬二教授（九大）と澤本光男常務理事の協力の下Pacifichem 2025の運営を行って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

●募集分野の新設定

Pacifichem 2025では、シンポジウム募集分野の設定に関して種々の視点からの新たな募集分野も設け、下記11分野に再編いたしました。各分野の内容やキーワードなどの詳細についてはPacifichem ホームページをご参照下さい。

<https://pacifichem.org/>

分野および日本の担当委員 [実行委員会委員]

- ① Analytical
- ② Inorganic
- ③ Organic
- ④ Physical 関先生主担当
- ⑤ Computational & Theoretical 田中先生副担当
- ⑥ Macromolecular 田中先生主担当
- ⑦ Biological 菅先生副担当
- ⑧ Materials 唯先生副担当
- ⑨ Educate, Communicate and Translate 唯先生副担当
- ⑩ Chemistry for Life Science and Health Care 菅先生主担当
- ⑪ Chemistry and Engineering for Sustainability 関先生副担当

●募集要領・申込方法

スケジュール等の詳細につきましては次号以降でご案内して参りますが、シンポジウム募集開始は2023年5月を予定しておりますので、どうぞご予定おき下さい。5年に一度の化学の祭典へのご参加・ご協力をぜひともよろしくお願い申し上げます。

◆シンポジウム申込募集開始

5月（予定）

※必要に応じて再募集することもあります。

◆申込方法

Pacifichem 専用 URL からお申し込み下さい。

準備が整い次第（2023 年 5 月予定）下記ホームページにてご案内いたします。

<http://www.pacifichem.org>（※準備中）

◆問合せ先：日本化学会事務局

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

公益社団法人 日本化学会 企画部 Pacifichem 担当

電話 (03) 3292-6163 FAX (03) 3292-6318 E-mail: pacifichem@chemistry.or.jp